

農業活動での汗を感動へ ～実習による成就感と達成感～

令和 7 年 10 月 22 日（水）～23 日（木）、「日本学校農業クラブ全国大会西関東大会」が山梨県を中心に開催されます。全国大会が山梨県で開催されるのは、昭和 33 年（1958 年）第 9 回農ク全国大会以来、67 年ぶりになります。その当時、高校生だった同窓生は、今年 82～84 歳になっています。その当時のことを覚えている同窓生がいます。

■望月義光校長先生について（昭和 25～35 年就任）

農ク全国大会が開催された当時の校長は、望月義光校長先生です。望月校長先生は、明治 35 年に鰍沢町（現在の富士川町）で生まれ、大正 10 年 3 月本校（第 15 回生）農業科を卒業。昭和 7 年に本校の教員として採用されました。昭和 25 年に本校に第 10 代校長として就任し、昭和 35 年まで在職 10 年に及びました。膨大な量の石を拾ったという農場の整備は昭和 25 年から 32 年までの 7 年越しで行われました。まさに本校の農場の礎を固めた時代の校長先生です。

このように、昭和 33 年農ク全国大会は、農林高校の農場が本格的に拡充整備された中で開催されました。ちなみに、望月校長先生の銅像は、フランス式庭園あずまの横にあります。



望月義光校長先生の像

■昭和 33 年（1958 年）第 9 回農ク全国大会

農ク全国大会は、昭和 33 年 10 月 29～31 日、本校および新装された県民会館を会場として 3 千 8 百余名の全国代表が参加して盛大に開催されました。本校は、クラブ活動発表、女子発表、平板測量に県代表として参加しました。山本武子さん他 6 名の女子発表「農作業衣の改善と普及をめざして」が、堂々の全国優勝に輝きました。

農業クラブは、昭和 25 年 11 月 3 日、日比谷公会堂で結成大会が行われ、本校農ク初代会長の渡辺道雄さんは、全国大会の常任理事になりました。結成から 9 年後に全校大会を招致し、学校農業クラブ組織の確立の時代に本校は大きな役割を果たしました。



県民会館での総会



聴衆を魅了した武田節の舞踏



歓迎アーチ

■昭和33年当時の農林高校

陸上部は、全国高校駅伝18位を筆頭に、県内大会を総なめにし、圧倒的な力を誇っていました。また、陸上部と並んで弓道部が大活躍していました。三枝正徳先生（後の第18代本校校長）の指導のもと、昭和32年、弓道部は国民体育大会で男子団体が全国制覇を成し遂げました。

ちなみに昭和33年の生徒数は1,298人、学級数は25クラスで現在の3倍の生徒数でした。



第9回農ク全国大会
本校校庭で行われた開会式



昭和33年の農林高校図
(近くに玉幡中学校やボロ電の駅があります)

■伝統の屈強な精神の農林高校

令和元年10月12日～13日に本県に接近した台風19号の風雨により、フランス式庭園の何本ものヒマラヤスギが倒木し、あずまやも倒壊しました。しかし、その後、生徒・職員によって、あずまやの再建やフランス式庭園の整備を進めています。



倒木したヒマラヤスギ (R元年)



あずまやの再建 (R3年)



フランス庭園の整備 (R6年)

■令和7年度農業クラブ全国大会に向けて

現在、農林高校は、令和7年10月に開催される農業クラブ全国大会に向けて準備を進めています。本校は全国大会の事務局として、生徒実行委員長の丹澤真衣さん（食品科学科2年）を中心に生徒実行委員会を定期的に開催しています。先日、東京都、神奈川県からも農ク役員の生徒が集まり、ポスターなどの選考をしました。また、農林高校は、農業鑑定競技会の会場として運営を行います。全国の高校から約1,000名の選手が競技に参加します。

生徒、職員、保護者、同窓生、多くの方々の協力を頂き、開催したいと思っていますので、ご協力ください。



農業鑑定競技大会 (昨年の大会)